

平成 30 年度事業計画（案）

福祉人材の掘り起こしから育成、職場定着までを総合的に支援するための取組について、東京都福祉人材センターと連携しながら実施していく。

1 福祉人材対策の検討

(1) 運営協議会の開催

第3回 6月27日開催

(2) 専門部会の開催

ア 普及啓発（3回程度開催）

東京都福祉人材センターが実施する東京都福祉人材情報バンクシステム「ふくむすび」（以下「ふくむすび」という。）についてのアンケート結果を踏まえて、「ふくむすび」の改善に向けて検討する。その他福祉人材対策事業の情報発信について意見交換を行う。

イ 人材確保（3回程度開催）

都が実施する福祉現場の実態調査項目を検討する。また、同調査結果を踏まえて福祉人材確保対策について議論を行う。

2 福祉人材対策の具体的取組

都における他の福祉人材対策や参画団体の取組と連携しながら、以下の事業を行う。

(1) 福祉人材に関する情報の発信

「ふくむすび」等により、福祉人材に関する情報等を発信する。

(2) 福祉人材の掘り起こし

福祉業界になじみのない方に対して、福祉職場に就業する意欲を持ってもらえるような取組を実施する。

ア 助成金付インターンシップ

一般大学の学生等の福祉職場への就業意識を向上させるため、大学のキャリアセンターと連携し、助成金付インターンシップを実施する。

イ 専門員による人材の開拓

専門員を配置し、大学及び関係機関等と連携し、福祉の魅力、やりがいをきめ細かく発信する。

(3) 福祉人材の育成

高齢者、主婦などの多様な働き方を支援する取り組みとして、福祉職場サポート業務研修により、施設等での補助的業務（配膳、清掃、話し相手、見守り等）に関する就業体験を実施する。

(4) 福祉人材の定着

事業者支援コーディネーターを配置し、事業者訪問等により、働きやすい職場環境づくりを支援する。